「婚活」を応援します！

写真提供　タングラム斑尾

全国的な晩婚化や未婚化が進んでいる時代の中で、結婚に向けて積極的に活動することを「婚活」といいます。

信濃町も今年度から「婚活」を応援するために「出逢いの場創出支援事業」を始めます。

なぜ、町が婚活支援を行う必要があるのか。今回は結婚事情を考え、町が取り組む婚活支援について紹介します。

統計から見る結婚事情

晩婚化、未婚化が進む

近年、社会環境の変化によって、ライフスタイル、そして「結婚」に対する考え方が大きく変わってきています。いずれ結婚したいと考えている反面、まだ適当な相手に出会っていない、急いでいるわけではないという人も多く、町内も晩婚化が進み、未婚率も年々高くなってきています。

信濃町の未婚割合は？

信濃町における未婚割合は、国勢調査の結果を見ると増加傾向にあります（下表：右から1番目の表を参照）。

特に男性では昭和55年と比較すると、30歳以上の未婚割合が非常に高くなっています。30歳代前半では、約半数以上が未婚者で、30歳代後半でも約4割が未婚者となっています。

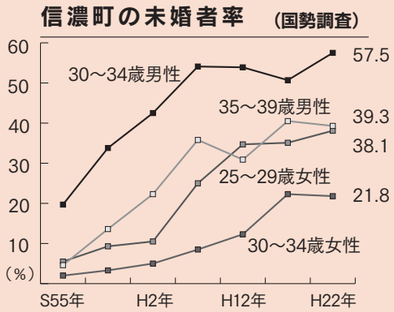
女性では25歳以上の未婚割合の上昇が顕著になっています。特に20歳代後半の未婚率は約4割にまで達しています。男女ともに結婚適齢期と言われる20歳代後半から30歳代前半の未婚者割合が高いことがうかがえます。男女ともに未婚率は上昇傾向であり、今後も未婚者は増えていくものと予想されます。

結婚願望を持っている人は多い

しかし、「結婚したくない」という若者が増えているわけではありません。未婚率が高く、結婚に対する考え方が変わってきたとしても、「いつかは結婚したい」という気持ちを持っている人は多くいます。

国立社会保障・人口問題研究所の「第14回出生動向基本調査」では、「いずれ結婚したい」と回答している割合が、男性で86・3％、女性で89・4％となり、男女ともに高い割合を占めています（下表：右から2番目の表を参照）。

過去20年間の若者の結婚に対する意欲を比較しても、「いずれは結婚したい」と考えている未婚者の割合は、約9割前後で推移しており、若者の「結婚」に対する意欲はほとんど変化がないものと考えられます。



独身男女に「出逢い」を提供してくれる団体や企業を募集

「出逢いの場創出支援事業」をはじめます♡

地域で独身男女の”出逢いの場”作りをしてみませんか？

「結婚を考えているけど異性に出逢えない・・・」「異性とどう接したらいいか分からない・・・」こんな悩みを抱える人に、地域の皆さんが中心になり、独身男女の出逢いの場づくりや、異性とのコミュニケーションを学ぶセミナーなど企画運営をしてみませんか？

町では、出逢いの場創出支援事業に取り組んでいただける企業や団体などを応援します。

1. 補助対象者

町内の企業や団体など

2. 対象事業

独身男女が出逢うための交流会やイベント開催や、魅力向上のための学習会やセミナー開催など

3. 補助金額

1事業 上限10万円 （※ただし、対象経費から参加費用等を引いた額の範囲内）

4. 対象経費

会場使用料や借上げ料、参加者の飲食費、印刷費、消耗品費、燃料費、広告宣伝費、講師謝礼等

問総務課 まちづくり企画係
☎（255）5920
メール kikaku@town.shinanomachi.nagano.jp

なぜ「出逢いの場」が必要なのか？

では、なぜ結婚したいと思っている人が多いのに、晩婚化・未婚化が進むのでしょうか。

ライフスタイルの変化、文化的な変化や、労働環境の変化、文化的な変化などのさまざまな要因があります。しかし、同じ調査では25歳～34歳の男女ともに結婚できない理由として、「適当な相手に巡り会わない」と回答する人が一番多くなりました。つまり、異性に出逢う機会がないなどの理由で、結婚したくてもできない人が増えているのです（下表：右から3番目の表を参照）。

昔であれば、親戚やご近所さん、地域の世話役的な人の紹介などから「結婚」を意識した出逢いが提供され、それをきっかけに結婚する人が多くいました。しかし、現在では世話役的な人も少なくなり、このような紹介は減っています。「結婚を意識した異性との出逢い」そのものが希薄になっています。

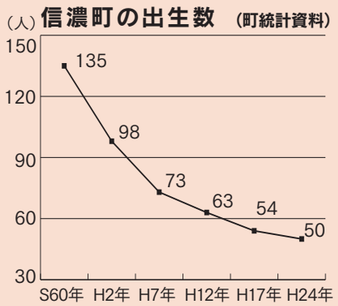
そのため、結婚を意識した「出逢いの場」の提供が今、必要になっているのです。

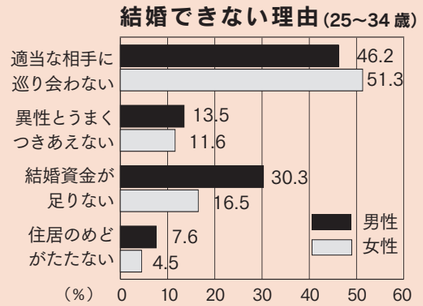
町が「婚活」を応援する意味とは？

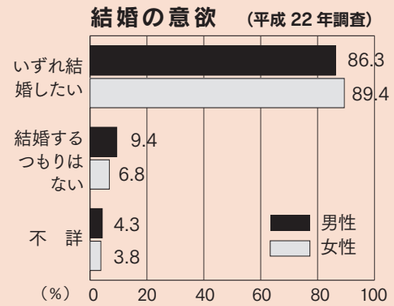
本来、結婚は個人の判断や価値観によるものであり、町が関わることは賛否があると思います。しかし、結婚していない人の中には結婚したいと考えている人が多くいます。そのような人に出逢いの場が提供され、結婚して幸せになってもらえる仕組みづくりを後押しすることで、少子化にも歯止めをかけたいとの想いがあります。

町の出生数は年々減少しています（下表：右から4番目の表を参照）。少子化の原因は経済的・社会的要因、子育てに対する不安等さまざまな要因があります。しかし、出生数を高めるには、結婚する人が増えなければ最初の一歩を踏み出すことができません。

このようなことから、少子化対策の原点として、未婚化・晩婚化に歯止めをかけることを目的に「出逢いの場創出事業」を創設して、婚活を応援します。







（国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向基本調査」）